
環境装置受注1.5倍増、5月、日本産業機械工業会調べ

Edited By LogisticsToday On 2017/07/11

日本産業機械工業会が10日発表した5月の環境装置受注状況によると、同月の受注高は323億6100万円で前年同月に比べ53.6%増加した。

需要部門別では、製造業が非鉄金属向け産業廃水処理装置、事業系廃棄物処理装置、機械向け産業廃水処理装置の増加により2.3倍増。非製造業は電力向け排煙脱硝装置、その他向け都市ごみ処理装置の減少により21.4%減少。

官公需は下水汚水処理装置、都市ごみ処理装置の増加で44.8%増、外需は汚泥処理装置、水質汚濁防止装置関連機器、都市ごみ処理装置の増加より2.2倍増となった。

装置別では、大気汚染防止装置が電力向け、海外向け排煙脱硝装置の減少で39.4%減、水質汚濁防止装置が非鉄金属向け、機械向け産業廃水処理装置、官公需向け下水汚水処理装置、し尿処理装置、海外向け関連機器の増加により、43.6%増。

ごみ処理装置は官公需向け都市ごみ処理装置、非鉄金属向け事業系廃棄物処理装置の増加により75.9%増、騒音振動防止装置はその他製造業向け騒音防止装置の減少で27.1%減少した。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/294557>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.